

# 総務常任委員会

6月20日、21日、22日の3日間開催し、陳情8件の審査、所管の予算審査と事務調査・現地調査を行なった。

## 公有財産売却

**問** 財源確保のため町の土地を売ることだが、そんな土地があるのか。

**答** 赤線（道路）、青線（水路）で、個人の用地と一体になっているところがある。旧名和町では、豊成駐在所が廃止になり土地が残っている。そういうところが結構ある。

## 小地域懇談会

**問** 同和問題小地域懇談会は、新町ではどうするのか。

**答** 引き続いて行う。時期は10月から12月にかけて予定している。

## 地籍調査事業

**問** 地籍調査の状況はどうか。

**答** 名和地区は昭和40年代に終わっている。中山地区は、山を中心に、中山地区は町なかを中心をやっている。現在、年60ヘクタールずつ調査をしているがこのペースでいくとあと50年かかる。

## 同和地区実態調査

**問** 5年に一度の同和地区実態調査が行われるが、調査内容や訪問者は。

**答** 地区内の全戸を訪問して聞き取りする。訪問者は一人で町の職

員が委託を受けて調査する。

（現地調査）

町内の主だった施設を見てまわった。

人権交流センター、大山支所、佐摩診療所、中山活性化センター、ナスパルタウン、町立図書館を調査した。図書館は蔵書も多くCD、ビデオまでそろっており、充実していた。



図書館の受付

# 教育民生常任委員会

6月20日から4日間、陳情3件の審査、所管事務の調査、学校視察等を行った。

断を行う大山小等を視察した。

## （住民生活課）

住民の関心の高い、ゴミ処理の現状、ゴミ袋の有料化等について説明を求め、ゴミの減量化について議論を行った。

（福祉保健課）  
高齢化の進展に伴い、老人医療給付、介護サービス給付の増大が懸念される。日頃の健康づくり施策充実の必要性が再確認された他、名和診療所嘱託医による、介護予防の取り組みが成果を上げつつあるとの報告があり、全町的な取り組みとなるよう要望した。

## （教育委員会）

平成18年度に予定されている名和地区の3小学校統合に伴う名和小学校の新築について、取り組み状況の説明を求めた後、同校および、今年度改築の大山学校給食センター、耐震診



改修される大山給食センター

活動報告など

しました。